



朝十小だより

学校教育目標 意欲ある子・考える子・健やかな子
～豊かな学びで 社会に出ることを心待ちにした児童がそろう学校～

朝霞市立朝霞第十小学校

発行日 令和8年5月1日
〒351-0023
朝霞市溝沼828-1
TEL 048-469-5443
在籍児童数 686名

子供の気づきを大切にする

校長 宮腰高子

令和8年度も、1ヶ月が経ち、新緑の眩しい季節を迎えました。各教室では、新しい仲間たちとの学びが始まっています。

先日は「じゃぶじゃぶ池」清掃を駆けつけてくださった保護者の皆様と共に行いました。今回の中心活動は、池に大量発生したオタマジャクシを黒目川に放流する作業でした。バケツに10杯ほどのおたまじゃくしを網ですくって、黒目川に放流し、池をすっきりとさせることができました。参加してくださった皆様、有難うございました。

さて、学校教育では「探究的な学び」が求められています。探究的な学びとは、子供が自ら問いを立て、調べ、考え、話し合いながら答えを見つけていく学びのことで、知識を覚えるだけでなく、考える力・伝える力・学び続ける力を育てることが大切とされています。本校では、これを実現するために「主体的に活動する児童の育成～興味を引き出し、学びを深める授業づくり～」を主題とし、算数科を中心に授業づくりの研究をしています。また、総合的な学習や生活科においても、子供のこれまでの学びで育ててきた興味・関心や地域の特色を生かしたカリキュラムを模索しているところです。

授業づくりを考えながら過ごしていると、ヒントになるものをたくさん感じます。例えば、前出のじゃぶじゃぶ池掃除です。「昨年度、美化委員の児童と掃除をした時にはオタマジャクシもカエルもいなかった」「オタマジャクシはこの後どのように成長するのか」「オタマジャクシはなぜこの池で大量発生したのか」「何を食べるのか」・・・子供たちの目線で見るとたくさんの問いが生まれます。この問いを解決するためにどうするか、解決すると新たな問いが生まれたり、知ったことを目的をもって発信したり。わくわく探究しながら学びを進めていけそうです。

このように身近に起こっている出来事から課題を見つけ、学びを進めていく。その過程で様々な教科と関連づけていきます。探究的学びは学校の中で収まるものではないです。ぜひご家庭でも「なんだろう」「どうしてだろう」などの子供たちの気づきに寄り添ってみてください。



【写真上から・池の掃除・池のオタマジャクシ・1年生を迎える会】

【学校運営協議会】本校はコミュニティースクールとして、地域・保護者・学校関係有識者の皆様に学校運営協議会委員として、学校運営方針について承認いただくとともに、様々な切り口から熟議していただきながら、地域とともにある学校作りのためお力を発揮していただいております。

(学校運営協議会委員)

- | | | | |
|-----|-------------------------|-------|-------------------------|
| 会長： | 様(学校薬剤師) | 副会長： | 様(朝霞市子ども相談室相談員・元本校校長) |
| | 様(溝沼下町内会会長) | | 様(民生委員・児童委員) |
| | 様(十小子どものための会会長) | | 様(青少年育成市民会議副会長) |
| | 様(学校応援団コーディネーター) | | 様(ハッピースマイル代表、民生委員・児童委員) |
| | 様(青少年育成市民会議理事・滝の根保育園園長) | 現本校校長 | 以上10名 |

※大変失礼ながら紙面の都合上、肩書を一部とさせていただきます。